

南河内第二中学校区小中一貫教育グランドデザイン

〈長期ビジョン〉

夢と希望をもち、たくましく未来を拓く児童生徒の育成

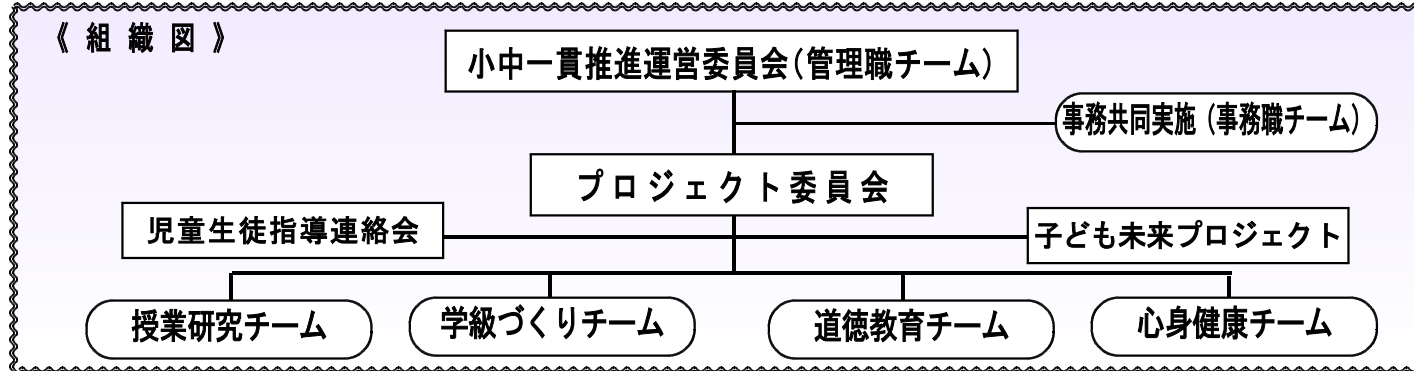
《目指す子ども像》

- 〈まなび〉主体的に考え、学び合いを通して互いに高め合える子ども
- 〈こころ〉思いやりの心を持ち、自他を大切にできる子ども
- 〈からだ〉心身の健康に関心を持ち、たくましく実践できる子ども
- 〈ちいき〉社会に貢献し、地域に主体的に参画しようとする子ども

2019～2020年度 南河内第二中学校区
実践研究 [理数教育]

理数教育の充実と推進を通して、思考力や表現力の向上を図り、自ら課題をもち、共に学び合い、深い学びに向かう子どもを育成します。
重点教科(算数・数学、理科)

《組織図》



＝特色＝
分離型で小中一貫教育を進めています。3校が近距離にある環境を有効に活用し、児童生徒間や教職員間の交流を活発に行っています。理数教育を中心とした学力の向上を目指します。

＝地域の様子＝
本地区は、自治医科大学および大学附属病院の開業、自治医大駅の新設により、急速に発展した地域です。地域住民は、医療関係者、会社員、公務員の割合が高く、地域や保護者の方々は学校の教育活動に協力的です。

＝児童生徒の様子＝
知的好奇心が高く、学習態度は良好で、課題に対し熱心に取り組むことができます。また、礼儀正しく落ち着いた生活態度で学校生活を送っています。

児童・生徒数 (2019年4月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3	合計
祇園小	51	52	61	60	53	62				339
緑小	31	47	31	48	42	39				238
第二中							116	98	123	337
合計	82	99	92	108	95	101	116	98	123	914

＝各学校の学校教育目標(目指す児童生徒像)＝

祇園小学校
響き合い、輝かし合いながら、共に
よりよく生きようとする子どもの育成
○健康で明るい子
○進んで学ぶ子
○心の豊かな子

緑小学校
自ら考え、主体的に行動できる心豊かな
子どもの育成
○学び合う子
○思いやる子
○きたえる子

南河内第二中学校
人間性豊かで、意欲あふれる中学生
1 自ら考え学ぶ生徒(確かな学力)
2 思いやりのある生徒(豊かな人間性)
3 体力と気力をきたえる生徒(健康・体力)
知・徳・体の調和のとれた教育で
「生きる力」を育成

まなび

基礎・基本を定着させ、児童生徒の主体性を引き出します。

達成目標	中2～中3	小5～中1	小1～小4
	主体的・対話的に学び、互いに高め合うことができる。	学び合いを通して、思考力と表現力を高めることができる。	学習習慣を身に付け、自分の考えをもち、進んで表現することができる。

- 9年間を見通した学習指導の推進
- 3校での授業研究(重点教科:算数・数学、理科)
- 学力調査の分析を生かした授業改善
- 家庭学習の定着と充実



理科の授業

小中教員の相互乗り入れ授業

こころ

自他ともに思いやりの心をもって接する児童生徒を育てます。

達成目標	中2～中3	小5～中1	小1～小4
	自他のよさを認め、関わりの中で温かい人間関係を築くことができる。	仲間との関わりを深め、互いに信頼し、協力して活動できる。	きまりを守り、誰とでも仲良くできる。

- 挨拶の習慣化と望ましい人間関係づくり
- 道徳教育の充実
- 交流活動を通じた自己有用感の育成
- 読書活動の推進



道徳の授業

小中交流あいさつ運動

からだ

心身の健康に対する関心と体力の向上を目指します。

達成目標	中2～中3	小5～中1	小1～小4
	自らの心身の健康管理や体力の向上に進んで取り組むことができる。	自己の生活習慣に関心を持ち、各種の運動に積極的に取り組むことができる。	「早寝・早起き・朝ごはん」を実現し、運動や遊びに進んで取り組むことができる。

- 正しい姿勢の定着
- 学校栄養職員と連携した食育
- 養護教諭と連携した保健指導
- 体力づくりの充実



体力づくり

食育授業

ちいき

保護者や地域と連携して、地域への愛着を育てます。

達成目標	中2～中3	小5～中1	小1～小4
	地域やふるさとへの愛着をもち、地域社会に主体的に貢献できる。	地域の行事への積極的な参加・協力ができる。	地域やふるさとのよさを知ることができる。

- 児童会・生徒会によるボランティア活動
- 小中合同のクリーン活動
- 地域行事への参加・協力(エコライフまつり)
- 地域ボランティアによる体験活動とキャリア教育の充実



むかし遊び

クリーン活動